

# 環境経営レポート

適応規格 : エコアクション21に準拠  
(2017年環境経営システムガイドライン)

2018年度 (第10版)

活動期間 : 2018年4月1日～2019年3月31日



2019年 7月10日

# 環 境 経 営 方 針

1. 事業活動及び製品・サービスにおいて、継続して環境保全と環境汚染の未然防止に努め、企業の社会的責任を果たします。
2. 環境に関連する法令や規則その他の守るべき事項を遵守し、地域との共生を図ります。
3. 社員全員が積極的に環境保全に関心を持ち、下記の事項を重点活動として取り組みます。
  - ①電力、化石燃料を節減し、CO<sub>2</sub>の削減に努めます。
  - ②全ての廃棄物を分別して再資源化に努めます。
  - ③環境に優しい製品の提案とグリーン購入に努めます。
  - ④化学物質の使用量削減、節水に努めます。
4. この環境経営方針を、全ての社員に周知徹底し活動することを誓います。更に継続的に実行し、美しい地球を子孫に残せるように努めます。

〈2009年2月1日制定、最終改訂2018年12月8日〉

長野県塩尻市宗賀平出67-1

株式会社サン・ブライト

代表取締役社長

猿田 明

## 事業の概要

### 1. 事業者名及び代表者名

事業者名：株式会社サン・ブライト  
代表者名：代表取締役 猿田 明  
設立：1988年10月  
資本金：2,300万円

### 2. 所在地

本社・工場  
〒399-6461 長野県塩尻市宗賀平出 67-1  
TEL:0263-52-8216 FAX:0263-52-9775  
◆E-mail info@sun-bright.co.jp  
◆URL http://www.Sun-bright.co.jp

### 3. 事業の規模

活動規模	単位	2018年度	2017年度	2016年度
売上高	百万円	417	519	481
従業員	人	36名	34名	27名
床面積	m <sup>2</sup>	648	648	648

### 4. 事業内容

省力化機器他、設計・製造・ソフト開発  
[設計開発関係]  
各種加工機 供給・収納ロボット 計測検査装置  
制御計測用回路基本設計 ソフトウェア開発  
省力化機械 電装設計配線 シーケンスソフト開発  
[製造関係]  
省力化機械 . . . . . 本組 サブ組 電装配線  
電子回路基板 . . . . . 製作 検査 アッセンブリ  
試作基板・装置 . . . . . 製作

### 5. 環境管理責任者・事務局の連絡先

環境管理責任者 山田 俊丁  
事務局 犬飼 孝  
連絡先 〒399-6461 長野県塩尻市宗賀平出 67-1  
TEL:0263-52-8216 FAX:0263-52-9775

## 対象範囲

### 認証・登録の対象活動範囲

省力化機器他、設計・製造・ソフト開発

### 対象事業所

本社・工場

### エコアクション21認証・登録

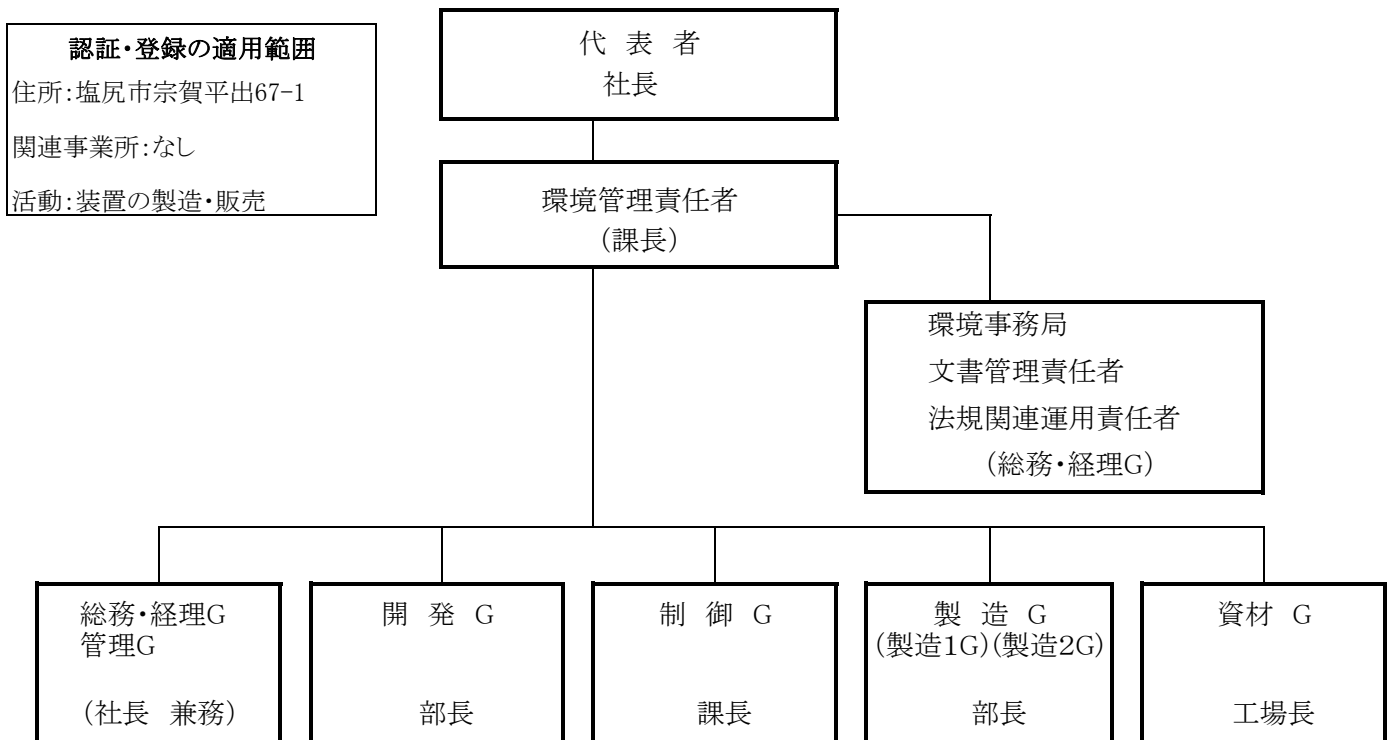
登録番号：0004246 登録日：2009年10月15日  
更新登録日：2017年10月15日 有効期限：2019年10月14日

### 環境経営レポート

2018年度 . . . 2019年 7月 10日作成  
対象期間2018年4月1日～2019年3月31日

# 環境経営実施体制

## 環境経営システム組織図 (改定-9)



担当部門	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任者</li> <li>環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能者を用意する</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知</li> <li>代表者に依る全体の評価と見直しを実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理システムを構築し、実施し、管理する</li> <li>法規制等の要求事項登録簿を承認</li> <li>環境活動実施計画書を承認</li> <li>環境活動の取り組み状況・結果を半期毎に全従業員に報告する</li> <li>環境活動の取り組み結果を代表者へ報告</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者、EA21推進会議の事務局</li> <li>環境への負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>「環境関連法規等チェックリスト」の作成</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成及び代表者承認後発行</li> <li>環境経営計画の実績集計</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの実施</li> <li>自部門に関連する環境目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門の問題点の発見・是正・予防措置</li> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門における教育訓練の実施(事務局が基本案を提示する)</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理(見本を事務局が提示する)</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応の手順書作成、及び訓練・記録(同上)</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する</li> </ul>

制定日: 2009年2月1日  
 改定-1: 2010年8月12日  
 改訂-6: 2015年4月1日  
 改定-9: 2019年7月10日

改定-2 : 2011年8月1日  
 改定-3 : 2012年6月1日  
 改定-7 : 2017年4月1日

改訂-4 : 2013年5月20日  
 改訂-5 : 2014年4月1日  
 改定-8 : 2018年4月1日

## 環境経営目標とその実績

### (1) 過去の環境負荷実績

区 分		単位	2016年度	2017年度	2018年度	過去3年間の平均	
二酸化炭素		kg-CO <sub>2</sub>	57,540	60,677	55,376	57,864	
	電力	kwh	67,770	74,242	68,617	70,210	
	灯油	L	3,897	3,370	1,790	3,019	
	液化石油ガス(LPG)	kg	106.0	106.0	77.0	96.3	
	自動車燃料	ガソリン	L	3,673	3,933	3,379	3,661.7
		軽油	L	1,607	1,808	1,759	1,724.7
	廃プラ	t	(1.06)	(1.14)	(1.95)	(1.38)	
	一般廃棄物(可燃・資源)	t	(5.108)	(6.026)	(6.069)	(5.734)	
廃棄物	混合廃棄物	t	1.99	4.93	5.18	4.03	
排水	水道水	m <sup>3</sup>	352	345	342	346.3	

### (2) 環境経営目標

区 分		単位	期間	2018年度	2018年度	2016年度	2019年度	2020年度	2021年度	
				目標	実績	実績	目標	目標	目標	
				2012年基準	2012年基準	2019年度以降の基準値	-1%	-2%	-3%	
		Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	年間	181.90	132.73	119.50	118.31	117.11	115.92	
二酸化炭素	電力	kwh/百万円	年間	199.10	161.42	140.75	139.34	137.94	136.53	
	液化石油ガス(LPG)	Kg/百万円	年間	0.33	0.18	0.22	0.218	0.216	0.213	
	灯油	ℓ/百万円	年間	12.50	4.28	8.09	8.01	7.93	7.85	
	自動車燃料	ガソリン	ℓ/百万円	年間	15.35	8.10	7.63	7.55	7.48	7.40
		軽油	ℓ/百万円	年間	5.37	4.22	3.34	3.31	3.27	3.24
	廃プラ	Kg/百万円	年間	23.79	4.67	2.20	2.18	2.16	2.13	
		一般廃棄物(可燃ごみ・資源ごみ)	Kg/百万円	年間	10.57	14.55	10.61	10.50	10.40	10.29
廃棄物	混合廃棄物	Kg/百万円	年間	15.44	10.00	4.13	4.09	4.05	4.01	
排水	水道水	m <sup>3</sup> /百万円	年間	1.19	0.82	0.73	0.723	0.715	0.708	
化学物質の使用量 (PRTR含有量の削減)		Kg/百万円	年間	0.101	0.068	0.070	0.0693	0.0686	0.0679	

※2019年度以降の目標の基準値を 2016年度実績の数値とする。

(2015年度の活動から目標数値を売上高比に変更している。)

※二酸化炭素排出量算出係数:環境省より毎年公表される係数を使用。年度別係数は下記のとおり。

2013(平成25)年度使用係数【0.513kg-CO<sub>2</sub>/KWh・実排出係数】・・・2014(平成26)年12月5日環境省公表  
(中部電力株式会社の係数を使用する)

(3) 環境経営実施計画及び行動実績評価、次年度の取組内容

環境経営方針	環境目標	具体的計画	評価	次年度取組	
			(○、×記載)	(継続する。続行する。等を記載)	
電力・化石燃料の節減、CO <sub>2</sub> 削減	電力の省エネ	昼、休憩時間、就業語、人のいない時、場所のスイッチは切る。	○	継続する	
		照明器具の適正配置・LED照明への変更(2019年度達成目標:90%)	×	継続する	
		エアコンの点検・清掃	×	継続する	
		冷房の温度管理 28℃、暖房の温度管理 20℃	○	継続する	
	灯油の削減	こまめな温度管理による無駄な消費の抑制(暖房の温度管理 20℃)	○	継続する	
		退出時には必ずストーブを消す	○	継続する	
	自動車燃料の削減	運行の効率アップ(無駄な運行の防止)	○	継続する	
		急加速・急停止の防止	○	継続する	
		エアコン(冷房)の控え目使用	○	継続する	
		アイドリングストップの推進	×	見直し・継続する	
廃棄物の分別、再資源化	一般廃棄物の削減(焼却ごみ、紙、雑誌、ダンボール)	紙、雑誌、ダンボールの資源化の徹底(小さい物は箱・袋に入れる) ・新たな分別への取組	○	継続する	
		書類はシュレッダーで裁断又は、業者に溶解処理を依頼し、資源化する。(カーボン紙は除く)	○	継続する	
		コピー用紙の使用量抑制、資源化の徹底。裏紙使用の推進	○	継続する	
		図面等のPDFファイル化の推進。(発注時の紙出力の削減)	○	継続する	
		注文書等のPCFAX・インターネットFAX化の実施	○	継続する	
	混合廃棄物の削減	分別を徹底し資源化する (鉄、銅、アルミ、線材、電池、蛍光灯、プラスチックに分別する)	○	継続する	
	プラスチック廃棄物の削減	梱包材への再利用の徹底	○	継続する	
		納入業者への梱包のスリム化を要請する	×	見直し・継続する	
	化学物質使用量の削減・節水	節水	手洗い、トイレ等での節水(節水の注意書き)の徹底	○	継続する
			水撒き時の節水、凍結防止目的の流水の削減	○	継続する
化学物質の使用量の削減		使用化学物質のリスト化、保管場所の明確化、継続監視。	○	継続する	
		PRTR,第一種対象化学物質の保有種類の削減	○	継続する	
環境に優しい製品の提案。グリーン購入	環境を意識した製品開発・製造・販売 ⇒SDGsにつながる具体的な計画・行動	○	継続する		
	グリーン購入の推進	対象購入品のリスト化、購入推進。	○	継続する	
その他	緊急事態対応	①火災・地震をを想定した避難訓練の実施。 ②緊急時対応(灯油、有機物質の漏れ対応を含む)の為のチェックリスト作成	① ○ ② ○	継続する	

※評価【 ○:よく行動出来た。 ×:行動不足。 】

◆上記評価が×の項目については、2019年度の重点活動とする。

・納入業者への梱包スリム化要請・・・納入ロット数が小さくなり、小分け梱包での納品の増加。

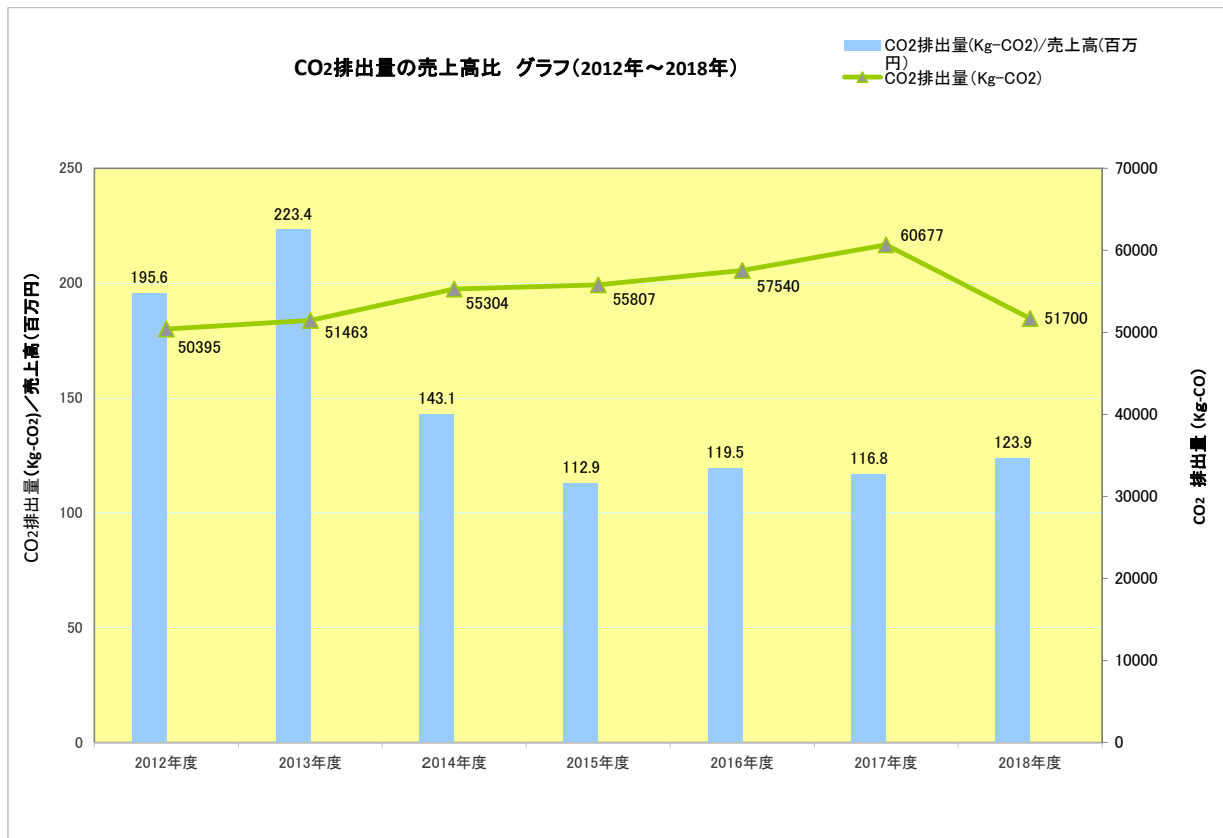
・アイドリングストップの推進・・・2016年度～2018年度とも具体的なアクションなし。➡2019年度に活動項目の見直しをする。

(4)活動実績(2018年4月～2019年3月)

①活動目標基準値～目標値～実績値(売上高比)

CO2排出量 の売上高比 (CO2排出量/売上高・百万円) < 2013年度～2018年度 >

	CO2排出量(Kg-CO2)/売上高(百万円)	CO2排出量(Kg-CO2)
2012年度	195.6	50395
2013年度	223.4	51463
2014年度	143.1	55304
2015年度	112.9	55807
2016年度	119.5	57540
2017年度	116.8	60677
2018年度	123.9	51700



各項目別の売上高比

		2012年度 (基準)	2015年	2016年度	2017年度	2018年度
電力	kWh-CO2/百万円	209.6	130.4	140.75	142.86	161.42
灯油	ℓ/百万円	13.44	5.11	8.09	6.48	4.29
液化石油ガス(LPG)	Kg/百万円	0.36	0.21	0.22	0.20	0.18
ガソリン	ℓ/百万円	16.51	9.79	7.63	7.57	8.10
軽油	ℓ/百万円	5.77	3.77	3.34	3.48	4.22
廃プラスチック	Kg/百万円	2.79	1.74	2.20	2.19	4.67
一般ごみ	Kg/百万円	10.57	10.27	10.61	11.59	14.55
混合廃棄物	Kg/百万円	15.44	6.77	4.13	9.49	12.43
水道水	m <sup>3</sup> /百万円	1.19	0.66	0.73	0.66	0.66
化学物質の使用量	Kg/百万円	0.101	0.04	0.068	0.065	0.068

## ②太陽光発電の実績

2015年9月30日より、太陽光発電パネルを本社工場の屋根に乘せ発電を開始した。開始から4年経ったが、パネルの汚れ等により、発電効率は多少ダウン傾向と見れるが、2018年度の送電量は、2017年度より 728KWh 多かった。

設置主: 工場の大家・ 関澤精機製作所

家主の了解を得て、CO2排出量の削減数値は環境経営レポートに記載している。

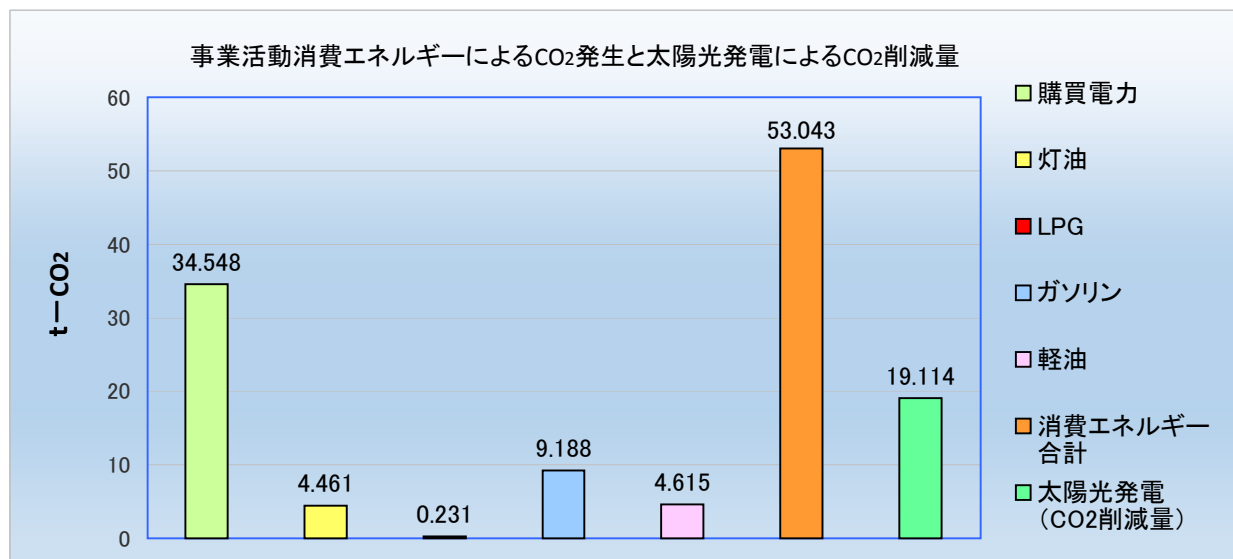
### <CO2排出量の削減効果>

太陽光パネルの種類		結晶シリコン型 (CO2削減効果:0.5045Kg-CO2/kWh)	
2018年 4月 1日	送電量	37,888kWh	
～2019年 3月 31日	CO2削減量	19.114t-CO2	
	CO2削減量 計算	37,888kWh×0.5045Kg-CO2/kWh=19.114t-CO2/kWh	
2015年 9月 30日	総送電量	136,140kWh	
～2019年 3月 31日	CO2削減量	68.684t-CO2	



### 太陽光発電利用の環境への影響・・・2017年度 カーボン・ニュートラル試算

【発電事業】太陽光発電によるCO2削減量		事業活動消費エネルギー及び発生CO2			
37,888kWh	19.114 t-CO2	購買電力	67354 kWh	34.548 t-CO2	
		化石燃料	灯油	1790 ℓ	4.461 t-CO2
			LPG	77 Kg	0.231 t-CO2
			ガソリン	3379 ℓ	9.188 t-CO2
			軽油	1759 ℓ	4.615 t-CO2
			上記合計		53.043 t-CO2





③有機溶剤・管理溶剤の保管棚、表示、管理リスト等・・・2017年度活動の継続

- ・購入時に識別表示を行い、管理対象物質か、対象外物質か可能性が分別表示を行う。
- ・各月月末に保有重量の軽量を行い、リストにて管理する。



④廃棄物の分別表示～分別活動

- ◆資源ごみ・・・廃プラ・ダンボール・紙・コピー用紙 及び各金属（鉄、アルミ）、基板
- ◇一般廃棄物(可燃ごみ)の分別 ◇産業廃棄物(最終埋め立て)
- ※ 特に廃プラスチックに関しては、分別意識、活動が浸透しており、資源として処理出来ており、海洋汚染、海洋生物への影響を食い止める活動となる。⇒ **SDGs(エスディーズ)**の活動につながる。



⑤エコアクション21掲示板及び表示による意識付け .....2017年度活動の継続活動



⑥電力デマンド監視システム(2012年11月20日～継続中)の継続実施の効果及び実績データ

◆デマンド監視システムの継続活用

2017年度の活動にて、設定目標値23KWの確保ができなくなって以降、最低限死守目標の25KWmkも守れず**2018年度は35KWになってしまった**。基本料金ダウンを目指すのが叶わず。

活発な生産活動の増による、コンプレッサー及び、照明、装置稼働での電力消費が増加のまま推移した。

※監視システムは継続して行う事とする。

2012年度(基準)以降2017年までの最大需要電力(デマンド)実績及び契約電力

単位	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
KW	2012年実績	25	20	18	18	28	30	24	23	19	24	24	23
	2016年実績	23	22	16	19	25	25	18	23	25	27	26	25
	2017年実績	27	22	17	25	27	32	19	22	26	29	29	31
	2018年実績	29	25	23	28	32	30	17	24	28	35	32	31
	2018年設定目標	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
契約電力	2012年契約	34	34	34	34	34	32	32	32	32	31	31	30
	2016年契約	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	27	27
	2017年契約	27	27	27	27	27	32	32	32	32	32	32	32
	2018年契約	32	32	32	32	32	32	32	32	32	35	35	35

デマンドデータ(2012年度 及び 2016年度～2018年度)

⑦『環境負荷を意識した製品開発の推進』の活動実績

環境経営方針『環境に優しい製品の提案』の展開 ⇒SDGs に通ずる活動の推進

★化粧品メーカーの”環境に配慮した包装容器への切り換え”に寄与する『梱包装置』の開発

”プラスチックの使用量削減”

化粧品の従来のプリスターパック(透明なプラスチックと台紙の包装形態)からシュリンクフィルムと台紙の包装形態への変更を実現する装置。

某化粧品メーカーのボトルの場合、包装している材料由来の CO2排出量を約80%削減している。

- ・樹脂使用量の削減 ⇒使い捨てプラスチックの削減に通ずる実活動。
- ・CO2排出量の削減
- ・重量の削減・省スペースによる輸送費の低減。

⑧検査用LED照明(エコライト)の開発、製造……従来タイプから新タイプへの変更

エコライ ◇販売元 : 株式会社 ナガタ (長野県岡谷市大栄町2-4-15)

◇開発・製造元 : 株式会社サン・ブライト(当社)

従来のハロゲンランプ光源の照明から、LED光源の照明への切替えることにより、環境問題に配慮した省エネルギー、省資源を実現した。(消費電力計算は、従来タイプの計算式にて算出。)

★・消費電力 ……90%以上カット      ・CO2排出量……90%以上カット

比較データ (点灯条件及びデータは、株式会社ナガタのカタログから引用しています。)

		単位	1年間	3年間	5年間
LED光源 (当社開発)	使用電力	Kw	28.8	86.4	144
	CO2排出量	Kg	10.9	32.7	54.5
C社製 プロジェクター	使用電力	Kw	372.0	1116.0	1860
	CO2排出量	Kg	140.6	421.8	703
削減目安	削減電力	Kw	343.2	1029.6	1716
	削減CO2	Kg	129.7	389.2	648.5
削減率			92.3% 減	92.3% 減	92.3% 減

稼働: 8時間/日 ・ 25日/月 点灯

LED 点灯スイッチレベル: MaX(50,000Lx……距離200mm)

CO2排出量係数 : 0.3788/Kwhにて算出

LED寿命40,000時間以上(メーカーカタログ)

・2018年度の生産台数から集計した電力・CO2削減の実績値(推定)

2018年実績	1年間使用すると
・使用電力の削減	218,962Kw
・CO2削減	82,749Kg (82.7.t)

※新タイプに切り替えが順調に行われ、今後の台数の伸びの期待する。



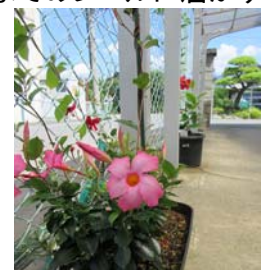
⑨緑のカーテンの植栽

例年同様にアサガオ・つる性サンパソル、サンパチエンス(CO2吸収力の高い植物)等”つる”になる植物を中心とした植栽活動の継続実施。

目的:①大気中のCO2削減(植物の特性の活用)

②環境整備意識の高揚

③夏場の工場周辺温度上昇の抑制を図る省エネルギー策として⇒効果が出るまでのレベルに届かず



## 環境への取組の自己チェックの結果

分類項目		2019/7/10		
施 策		評価結果 の点数	満点の場合 の点数	実施度合 %
◇事業活動へのインプットに関する項目				
1)	省エネルギー	96	192	50.0
2)	省資源	32	60	53.3
3)	水の効果的利用及び日常的な節水	22	44	50.0
4)	化学物質使用量の抑制及び管理	18	24	75.0
小 計		168	320	52.5
◇事業活動からのアウトプットに関する項目				
1)	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染などの防止	12	12	100.0
2)	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適性処理	50	76	65.8
3)	排水処理	0	4	0.0
4)	その他生活環境に係る保全の取組など	2	10	20.0
小 計		64	102	62.7
◇製品及びサービスに関する項目				
1)	グリーン購入 (環境に配慮した物品などの購入、使用など)	18	36	50.0
2)	製品及びサービスにおける環境配慮	17	52	32.7
小 計		35	88	39.8
◇その他				
1)	生物多様性の保全と持続可能な利用のための取得	3	6	50.0
2)	環境コミュニケーション及び社会貢献	15	30	50.0
3)	施主・事業主における建築物の増改築、解体などに 当たっての環境配慮	0	0	0.0
小 計		18	36	50.0
合 計		285	546	52.2

※『環境への取組の自己チェック』はエコアクション21・2017年版のチェック項目にて実施。

## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 適用される環境関連法規制

当社の事業活動に適用される環境関連法規等は次の通りです。

関 連 法	要 求 事 項	報告書等遵守の証拠	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の保管、収集運搬・処理業者との契約及び委託、マニフェスト交付、県知事への報告	産業廃棄物管理票交付状況報告書 提出 2019年/6/28	遵守
消防法	灯油タンク周囲への流失防止、貯蔵管理と取扱届出。 消防用設備点検及び報告	・少量危険物・指定可燃物貯蔵扱い届出書 H21/2/24 ・消防設備点検実施報告書提出 2018/4/18	遵守
家電リサイクル法	特定家電機器廃棄物を排出する際の適正な引渡し、 収集・再商品化等に関する費用負担	該当する廃棄商品 無し	遵守
自動車リサイクル法	自動車を廃車する場合、リサイクル料金の支払い、 自治体に登録された引取り業者への廃車の引渡し	該当する廃棄商品 無し	遵守
フロン排出抑制法	対象エアコンの点検及び記録の保存	対象エアコンの点検表 作成	遵守
RoHS指令	EU域内にて、有害な化学物質の使用を禁止 (禁止物質 6種類)	客先要求時 『RoHS指令適合報告書』を入手・提出	遵守
グリーン購入法	物品購入、借り受け、役務を受ける場合、できる限り、 環境物品等を選択する。	購入実績リスト作成	遵守
PRTR制度	化学物質の自主的な管理改善の促進、環境保全上の支障の 未然防止(化管法)	(管理リスト作成にて対応)	遵守

### (2) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社は、EA21環境管理責任者が中心となり適切に監視しており、環境関連法規への違反はありません。

又、現在及び過去4年間、違反の事実の無いことを確認いたしました。

同様に関係機関及び近隣住民からの苦情、指摘、訴訟などは、ありません。

内 容	過去4年間の結果
法律違反の有無	なし
訴訟の有無	なし

# 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果 (適切性、妥当性、有効性)

2019年7月10日

## 1. 環境管理責任者の報告

①環境関連法規制の遵守状況 ⇒実施状況問題無し、関連文書保管確認

②環境経営目標・計画の実施状況

売上高比目標は達成。(電力量、ガソリン、軽油の使用量は前年を下回る結果となった。)

特に灯油の使用量は、前年の半分の使用量となっている。これは、エアコン使用がメインとなっている結果である。

灯油の使用は減ったが、電気のデマンド値の上昇を抑えられず、基本料金がアップする結果となっている。

灯油使用とエアコン使用の比率に関しては、毎年の課題である。尚、デマンド値の設定値の見直しは必要。

③是正及び予防処置の状況 ⇒ 火災非難訓練の実施 (2018年12月実施を確認)

2018年の中間審査にて指摘された5S関連・・・徹底した2S(整理・整頓)の実施により、在庫管理の改善、工場スペースの確保ができた。

2019年9月からは、新システム稼働の準備に入り、より効率良い管理体制の構築を計画的かつ継続的に実行する。

④前回までの代表者の指示事項への対応

社内照明のLED化の実施 ➡ 実施中(約60%交換済)

⑤周囲の変化状況

**SDGs** に関して、一般社会にでも認知度が高くなってきている。当社としても取組の明確な計画、実施が必要と判断する。

## 2. 代表者からの変更の必要性の有無・指示事項

①活動の目標・計画・評価を売上高比にて比較しているが、継続的に実施し、評価・見直しをする事。

②デマンド管理： 上限目標を2018年度は大幅に超えている。設定値の見直しを実施の事。

③社内照明のLED化については、2019年度には、90%達成を目標として実行の事。

④**SDGs**の理解と教育、具体的な活動の計画、成果につなぐ行動をとる事。

⑤エコアクション21 ガイドライン2017年度版 に 沿った計画・実行・チェック・行動ができる様、社内体制を見直し、複数人にて活動ができる体制をつくる。

※ **SDGs** :2015年9月「国連時s族可能な開発サミット」で採択されたもの。 国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で 達成するために掲げた目標。

17の目標とそれらを実行するための具体的な169のターゲットで構成されている。